

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後児童デイサービスセンターらいず		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に保護者の意向を聞き、こどもの課題を共有し、個別支援計画に反映させている。	半期ごとの保護者と面談や送迎時に話をする機会を持ち、事業所での本人の様子の報告をし、同時に保護者の思い、家庭での本人の様子を聞き、課題や要望を共有するようにしている。	日頃からこどもとの会話を通じて、こどもの意向、興味のあること、やりたいことなどを把握し、それを実現する内容を個別支援計画に盛り込むよう意識する。
2	活動スペースでは視覚的な情報を取り入れ、分かりやすい表現でこどもに伝えられるような掲示をしている。	グループ活動などでは、切り替えや集中しやすいように別棟を始め、プレイルーム以外の複数の部屋を活用している。また、注意喚起のポスターなどには絵、写真を入れて掲示している。	構造化が必要なこどもには、それぞれの特性に合わせた専門的な視点から個別の視覚的情報を提供していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間でのスムーズかつスピーディな情報共有が今以上に必要である。	毎日の職員ミーティングに、出勤時間の関係で参加できない職員への情報が正確に伝わっていないことがある。	情報発信の質、量、タイミングを見直す共に使用する媒体も検討する。また、各職員が受身ではなく、積極的な情報取得の意識を持つ。
2	家族、兄弟への支援の機会が少ない。	家族、兄弟向けの研修や交流の機会の提供が少ない。保護者からの要望が高い本人支援を優先的に行っている現状がある。	保護者、兄弟が参加出来る研修会、交流会開催に向けて、内容を検討する。また、地域の関係機関で開催される研修やイベントなどの情報を取得し、保護者へ情報発信をする。
3	地域住民や関係機関との交流の機会が少ない。	事業所が地域の中で支えられているという意識が希薄になっている。	日頃から地域住民の方への挨拶を徹底する。また、地域住民や関係機関の方に事業所に来てもらえるような企画を検討する。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後児童デイサービスセンターらいず				公表日	2025年 2月 5日	
						利用 児童数	41 (37家庭)	
						回収数	30	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			・活動により場所を分けたり、更衣のためのスペースがきちんと確保できるだけの余裕がある点はとても安心できる。	・現状のスペースを有効利用できるような取組をしていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	9		5	・活動を選択制にしても目が行き届く職員配置で安心できる。 ・施設に何人配置なのか分からない。 ・利用人数に応じて職員数を調整されていると聞いた。	・利用児数に応じて必要な職員配置を満たしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1		1		・視覚的な情報を使った掲示を行い、障害特性に応じた対応をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2		1		・毎日、場所を決めて清掃を行っており、こども達の活動の場だけではなく、子ども達が使用する場所は清潔に保っている。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3			・こどもの気持ちにいつも寄り添うかたちで支援していただいていることに満足している。	・こどもの特性などを考慮した支援計画に基づいた支援をするように意識している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1		3		・5領域に基づいた支援プログラムに沿って、創意工夫をした支援を行っている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1	1			・日頃から聞いているこどもの声と、半期ごとの保護者面談で聞き取るニーズを踏まえて、個別支援計画を作成している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1				・個別支援計画はガイドラインに沿った項目ごとに必要な支援内容を示している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2				・個別支援計画の内容を職員間で共有し、内容を意識した支援に努めている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3		2		・月間のプログラムの立案の際には、同じ曜日で内容が被らないように意識している。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5	10	6	・交流をしているのかは分からないが、様々なイベント等に連れて行ってもらえているので、今のままで十分満足している。	・地域の図書館やイベントに参加し、地域のこどもと交流することはある。今後は事業所が主催する交流を目的とした活動の機会を検討していく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	2				・利用開始時に説明の機会を設けている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				・半期ごとの保護者面談の際に説明を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	9	2	4	・保護者も参加できる講演会などあれば、案内してほしい。	・現状は保護者会での交流のみになっているので、今後、保護者、家族を対象とした研修会、後援会などを実施していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	4	1	1	・LINEを使用できるようになったことで細やかな情報のやりとりができるようになったと思う。	・日々、気付いた事があれば、送迎時に直接伝えたり、LINEを通じて情報共有に努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1	2			・半期ごとに定期的な面談の他、別途、相談を受けた際には都度行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2	1			・日々のこどもの様子をしっかりと感じ取り、変化に気づき、こどものやりたいことを実現できる支援を心がけている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	8	5	6	・あれば、是非参加したい。	・年に1度、保護者会を実施し、保護者同士の交流の場を設けている。 ・今後は兄弟、父親向けの交流の場を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	5		2		・相談の要望があった際には、都度、早い時期に落ち着いた話が出来るような環境を整えている。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	4		1	・LINEの使用が可能になり、とてもスムーズな対応ができる様になりとても助かっている。	・送迎時に直接伝えたり、気付いた時にLINEを使って早期の情報共有を実施している。また必要に応じて連絡帳に内容を記載している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	5		2	・SNSはあまり見ないので分からない。 ・子ども本人は帰宅してからも何も教えてくれないので、SNSなどで発信してもらえるのはありがたい。	・LINE、インスタグラムを使用して日頃の活動の様子をお知らせしている。毎年、保護者評価の結果は法人ホームページで公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	2				・利用開始時に保護者へ個人情報の取り扱いについて説明し、同意書に署名を頂いている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	2		4		・各マニュアルは整備しており、定期的に訓練を実施している。 ・保護者への周知・説明については今後実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3		6		・毎月、利用児、職員合同での避難訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2		3		・事業所で設けている安全計画に沿って、安全の確保を実施している。保護者への周知については、今後実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	4				・発生の都度、速やかに報告、連絡を行うように努めている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1				・日頃から職員間で子どもの様子を注視し、小さな変化を見逃さないように努めている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	3		1	・高校生なので楽しみにという訳ではないと思うが、定期的に利用することで、中学校の頃よりは本人が行く気になっている。	・日頃から子どもの声を聞き逃さず、楽しみながらチャレンジし、達成感を味わえる経験を提供する支援を心掛けている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1				・保護者のニーズ、子どもの希望を踏まえた内容の支援ができるように、職員間で試行錯誤しながら行うように努めている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後児童ディサービスセンターらいず				公表日		2025年 2月 5日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0	・必要なスペースは確保している。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		5	1	・受入れる利用者数に合わせて職員の配置数を確保している。		・職員配置数についての説明を全職員に周知する機会を持つ。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	・視覚的に分かりやすいよう、写真やイラストなどを掲示している。		・音楽棟（別棟）に関しては、それほど意識していなかった、改善の余地があるように思う。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	・掃除場所を曜日ごとに決め、清潔に保てるようにしている。 ・こまめに掃除をしている				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	・宿題など集中して取り組みたいことがある時や、気持ちを落ち着けたい時には、個室を使うよう声かけしている。 ・こどもの様子によって、職員とマンツーマンで過ごしたり、話しをしたりする機会を持っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	0	・毎日のミーティングの中で、進捗状況を確認している。		・ミーティングに出ていない職員の情報共有が不足している面もある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・年1回、保護者向けのサービス評価を実施し、結果を公開している。		・内容を知る機会はあるが、業務改善に繋がられているかどうか不明である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・会議などで意見を出し合っている。 ・会議や日常のミーティングや日報に記載し、話し合った内容の情報共有を行っている。		・会議以外で契約職員が正規職員とコミュニケーションをとる時間が少ないため、ふとした気づきや伝達が流れてしまうことがある。 ・何気ない会話の中にも業務に生かせるものが潜んでいると思うので、そういった会話をより増やすべきである。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	3	・事業所内の自己評価と保護者評価のみを実施している。		・第三者による評価がどういった内容か理解していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	・勤務の状況を見ながら、法人内外で開催する必要研修を受講する機会はある。 ・時間的な制限がある時が多い為、リモート研修を活用している。		・受講した内容を会議で報告する機会はあるが、それを現場で生かすための具体的な話をする時間は取れていないように思う。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	1	・半月に1度、支援内容を検討し、事業所内に貼りだしている。		・外部への公表を今後実施していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。		6	0	・年2回のモニタリング時に保護者面談を行い、家庭の様子やニーズを確認している。		・こどものニーズの聞き取りと、アセスメントの更新が不十分である。 ・作成された内容について、契約職員は共有する機会が少ないと感じる。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	・ケース担当を中心に共有している。 ・支援計画作成会議を利用児ごとに実施している。 ・児発管が中心となり複数人で行っている。		・契約職員が参加できる時間に開催する為の時間的な制限がある。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	・支援計画一覧を職員全員に配布し、周知された上で支援を実施している。 ・時間給職員にも支援計画を意識した日々の支援記録作成の為の情報共有がなされていると感じる。		・具体的な支援方法の周知がやや弱いと感じる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5	1	・保護者によるアセスメントシートをもとに現状の状況を確認している。		・アセスメントは入所時のものしか残っていない。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・支援計画には必要な項目、支援内容を設定している。	・本人支援以外の項目について、全体への周知が弱い
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・月間の活動予定を話し合いながら決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子どもの状態や興味・関心に合わせて変更している。 ・週で予定を組み、活動が被らないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	・それぞれの課題に合わせて、個別か集団の取組みを実施している。	・個別活動があまり実施できていない印象がある。 ・組み合わせでの実施は出来ていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日のミーティングで確認している。 ・朝のミーティングや日報への企画書の挟み込みなどで情報を共有している。	・活動の担当が直前に決まるので、内容を把握しないままスタートすることがあり、開始前での担当者間での打ち合わせの必要性を感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・送迎があるため終了後の打ち合わせは難しいが、次の日のミーティングや会議で共有している。	・支援記録を記入する際に、話をする程度である。 ・ミーティングに参加しない時間給職員を含めての支援の振り返りの時間の確保が課題だと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援計画に沿った支援内容やこどもの様子を記録している。モニタリング時に検証している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・半期に1回モニタリングを行い、評価を児発管を中心に複数人で確認を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・4つの基本活動を踏まえた内容にて、活動内容を検討している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・活動を選択制にし、好きな遊びを選べるようにしている。 ・活動は基本的には選択制としている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管とケース担当が出席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・他事業所、相談支援事業所、学校などと情報交換しながら連携を意識している。 ・医療とは、こどもが行う発達検査の診断書を支援の参考にしてしている。	・保健、医療分野とは連携は事業所側からの働きかけはない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・当日の下校時間の変更など連絡をもらっている。 ・送迎時等で確認している ・学校とは対象児の様子の聞き取りが主で、行事、下校時間などは保護者から情報を得ている。	・学校との情報共有はできている所、できていない所があり、学校によって差がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・児童発達支援事業とは、過去の支援方法やこどもの様子なども状況共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・必要に応じて提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	・中核事業所とのこどもについての情報交換の機会はある。	・助言、研修を受ける機会はない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・公園では地域の子どもと遊ぶ機会がある。 ・定期的に地域の図書館を利用し、地域のこどもと同じ時間を過ごす機会を持っている。	・事業所発信による交流・活動の機会がもてていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・施設長、児発管が参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際や連絡帳、LINEなどで共有している。 ・保護者が来所される時には、積極的に話しかけて、コミュニケーションをとるようにしている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは実施していないが、外部講師を呼ぶ保護者会は実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等で事業所内で行う機会もあるが、もう少し広く、保護者に情報(保護者対象のセミナーなど)を提供してはどうか。様々な報提供があつていいと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に適切に説明している。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの時期に保護者の個別面談を行い意向を確認している。 ・以前よりも保護者との面談回数が増えている。LINEを始めたことで、距離が縮まったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向は聞き取りしているが、こどもの意向の聞き取りができていない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・都度説明を行い、同意の署名をもらっている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の定期的な面談時だけでなく、日常のこどもの様子の変化などから、面談や状況共有を行い、必要な支援内容を相談している。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回保護者会を開催して、保護者同士の交流する機会を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟同士の交流は実施していない。 ・保護者会は年に一回行っているが、その他の機会はない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付体制については、利用開始時に説明している。 ・第三者委員を設置し、定期的に報告、助言をもらっている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムにて日常やイベントの写真などを定期的に発信している 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に意識して取り扱いは留意している。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく、絵カードや写真を使いながら意思疎通しやすい方法を提示している。 ・聴覚障害の保護者に対し、声での報告ではなく、毎回連絡帳に様子を記載している。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の清掃活動を通じて地域貢献に取り組んでいる。 ・買い物体験などで地域のお店を利用するなど、地域資源を積極的に利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を巻き込む行事は実施しておらず、地域住民との交流の機会を持つことは今後の課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震の避難訓練は実施している。 ・各種マニュアル作成されており、こども達と防犯について話をする機会もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な内容の発生を想定した訓練は網羅出来ていない。 ・なかなかマニュアルに目を通す機会がない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回避難訓練、学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定はしているが、訓練は実施出来ていない。 ・避難訓練は火事を想定したものが多くので、地震や不審者対応など違うパターンも増やす必要があると思う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬変更や発作などがあつた場合には、保護者から連絡をもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の保護者から情報提供が希薄なため、把握しきれないものがある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの情報に基づいて、職員に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の保護者より詳細な情報が提供されていない為、出来ていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って年間の研修、訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な計画の見直しが出来ていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施報告は送迎の際などに報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な安全計画の取組みについては、定期的に話をする機会を持つことも必要である。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハットがあった時には、書面にし、会議などで共有することになっている。	・大きな事故にはなっていないが、ヒヤリハットに該当する内容に関してスタッフ間の基準が統一できていないと感じる。 ・ヒヤリハットが共有されていない。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・法人内部の虐待防止委員会や外部の研修に参加し、職員全体に啓発と情報共有をしている。	・具体的に事例などについて検討する機会も必要だと感じる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・利用開始時にやむを得ない身体拘束についての説明を行い、保護者の同意を得ている。	・身体拘束をしなくもよい支援についても、合わせて検討する必要がある。